

浸水被害発生時の 衛生対策と消毒方法

台風や集中豪雨などで、家屋が浸水すると、細菌やカビが繁殖しやすくなり、食中毒や感染症にかかるおそれがあります。通常は汚れを洗浄し、よく乾燥させる対応で十分ですが、汚水が混入したおそれがある場合などは消毒を行いましょう。



床上浸水したときの対応

不要なものは処分し、
汚泥などを水で洗い流し、乾燥させます

①水道水で汚れを
洗い流して…



水が引いた後、浸水により
使用できなくなった
畳や家財道具類を片づ
けます

②デッキブラシなどで
こすり洗い



汚れた家具、床や壁を
水道水で洗い流します

③窓を開けて風通しを
よくして、乾燥させます



よく乾燥させます
※扇風機を使う方法
もあります。

Q 消毒はした方がいいですか

A 下水道が逆流して、汚水が混入すると、消毒が必要になる場合があります。ただし、汚れがついた状態で消毒薬を使用しても、効果を発揮しません。

まず、水道水できれいに洗浄してから、
消毒薬を使いましょう！



※生活衛生課では、床上浸水した場合、消毒薬の配付を行っています。
浸水被害が発生して必要な場合は、お問い合わせください。

消毒薬の使用法

① 屋内の消毒

汚水に浸かった家具、
床や壁などの消毒をします。

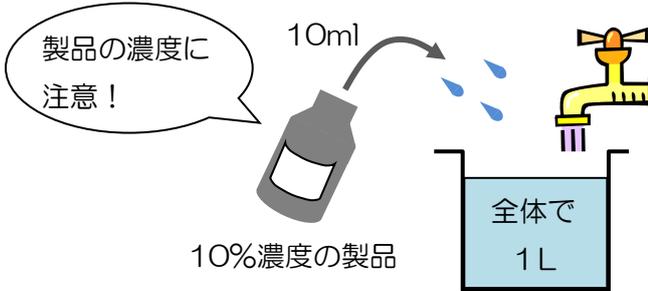


消毒薬：逆性せっけん（0.1%濃度に調整します）

※「逆性せっけん」とは、「塩化ベンザルコニウム」や「塩化ベンゼトニウム」を成分とする消毒薬のことです。薬局や薬店などで購入できます。（製品名：オスバン等）

【消毒薬の調整方法】

製品の濃度に注意して、水で希釈します。
（例）10%の製品の場合、本剤 10ml に水を加えて、1 リットルにする。



【使用方法】

汚れを洗い流した後、消毒薬をうすめた液を浸した布などで、よく拭きます。
（噴霧器を使用する場合は、濡れる程度に噴霧して、その後はよく乾燥させます。）



② 手指の消毒

汚れた場所に触れた
手指の消毒をします。



消毒薬：逆性せっけん（0.1%濃度に調整します）

【消毒薬の調整方法】

逆性せっけん液は、上記①と同様の調整方法で、0.1%濃度に希釈します。

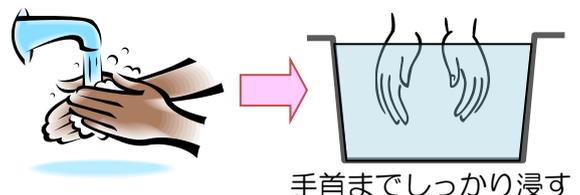
※手指の消毒の場合、速乾性手指消毒剤を使っても便利です。



速乾性手指消毒剤の例

【使用方法】

まず、汚れを石けんで洗い落してから、消毒薬に手を浸して、30 秒以上もみ洗いします。



③ 食器類の消毒

汚水に浸かった食器類の
消毒をします。

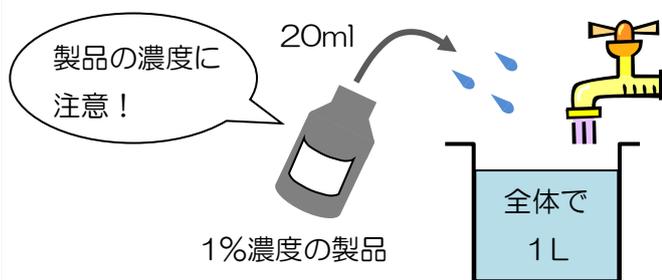


消毒薬：次亜塩素酸ナトリウム（0.02%濃度に調整します）

※製品名：ミルトン、ピューラックス等

【消毒薬の調整方法】

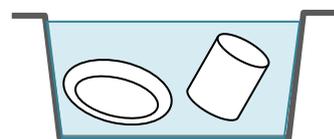
製品の濃度に注意して、水で希釈します。
（例1）1%の製品の場合、本剤 20ml に
水を加えて、1リットルにする。



（例2）6%の製品の場合、本剤 10ml に
水を加えて、3リットルにする。

【使用方法】

まず、洗剤で汚れを落とし、よく水洗いし
ます。次に消毒液に約 10 分間浸した後、
水ですすいでから自然乾燥させます。



※ 注意：台所用漂白剤を使用する場合
も、界面活性剤が入っているため、す
すぎが必要です。

☆ 冷蔵庫や食器棚の中は、消毒用アルコ
ールを使う方法もあります。



注 意 事 項



- 消毒薬を取り扱う際は、長袖、長ズボン、めがね、マスク、ゴム手袋などを着用し、薬品が目や皮膚にかからないように、注意してください。
- 消毒薬が皮膚についた場合は、大量の水とせっけんで洗い流してください。
目に入った場合は水で15分以上洗い流し、医師の診察を受けてください。
- 消毒薬は、使用する直前に希釈し、希釈濃度を守るとともに、他の消毒薬や洗剤と混ぜないでください。
- 小さい子どもがいる家庭では消毒薬を誤って飲まないように注意しましょう。

食中毒や感染症の予防のために

 水に浸かった食品や停電などで温度が保てなかった
冷蔵・冷凍食品は、食べずに処分しましょう。



 調理前や食事前には、必ず手を洗いましょう。

水の安全も確認を

 マンションやビルなどで、貯水槽を使用して
飲料水を供給している場合、貯水槽内に汚水
が混入していないか確認してください。



汚水が入った可能性がある場合は、貯水槽を
清掃するなど、安全が確認されてから、飲用に使用しましょう。

※ 地下室に貯水槽を設置している施設は、特に注意してください。

 【 お 問 合 せ 先 】 

江戸川保健所 生活衛生課 環境衛生係

江戸川区東小岩3-23-3 小岩健康サポートセンター内

電話：03-3658-3177（内線41~43）